

第32回 地域療育講習会

医療福祉相談室 清水孝子

令和5年2月17日（金）、第32回地域療育講習会「重症心身障害児者における食事のA B C D～栄養・バクテリア・クッキング・デバイス～」をオンラインで開催しました。内容は、「重症心身障害児者の腸活について」「ミキサー食の胃瘻注入」「利用者の栄養を支える食事提供」「食材によって変える調理と加工のポイント」の4部構成で、当センター小児科部長・摂食嚥下障害看護認定看護師・栄養科長・栄養科技能主任からお話しさせていただきました。

事後のアンケートでは、「話題の腸活についてデータをもとに詳しく知ることができた。」「本来の食材の特性をよく追求し、その試行錯誤を惜しみなく提供いただき大変ありがたい。」「胃ろうからの食事注入のメリットや、量や時間を具体的数字で学ぶことができ勉強になった。」などと、好評をいただきました。



今回は147名の聴講希望があり、テーマに関係の深い栄養士が最も多く、他にも看護師、支援員など利用者の食事や栄養に関わる様々な職種の方々に聴講いただきました。これからも障害児者にかかわる皆様に、お役に立つ内容を発信していきたいと思っております。

半日バスハイク 郷土の森

2A病棟 大塚好雄

2月8日（水）、2A病棟では半日バスハイクでマイクロバスに乗り、府中市郷土の森に行ってきました。感染予防対策に留意しながら出かけました。ちょうど梅まつりが開催されており、白梅や紅梅が見頃の時期を迎えていました。薄曇りの肌寒い日ではありましたが、梅林の沿道を散策していると、梅の盆栽の品評会やお花目当てで写真撮影している行楽客の賑わいもあり、利用者さんもお花の香りや美しさだけでなくお祭りの雰囲気も楽しめました。

噴水のある水辺やロウバイの丘、水車小屋等、広い郷土の森を利用者さんに語りかけながらゆっくりと隈なく散策することができました。利用者さんもすっかりくつろがれ笑顔や機嫌のよい発声もあり、この日の散策を満喫していました。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第542号 発行日 令和5年2月28日

節分の会

通所 山下佳代



2月3日（金）、今年も通所に赤鬼・青鬼が遊びに来たので、利用者の皆様と豆まきを行いました。まずは、ウォーミングアップとしてクラス対抗「鬼玉入れゲーム」を行いました。鬼の腰につけたカゴの中に制限時間内に紅白玉（豆と見立て）を多く入れるのを競うゲームをしました。鬼の姿を見て怖がる利用者もいましたが、いざゲームが始まると鬼に向かって勢いよく投げて元気いっぱい倒す気満々になっていました。カゴに紅白玉をたくさん入れることができ豆まきのシミュレーションも完璧！！

その勢いそのまま豆まき本番！！キリッとした表情で闘志に燃えて力いっぱい投げってくるので、鬼もタジタジになりみんなの気持ちに負けてしまいました。「また来年力をつけて遊びに来るぞ～！！それまで修行だ～！！」と鬼も叫んで帰っていきました。皆様のお陰で今年も通所にたくさんの福を呼ぶことができました。



豆を投げられ退散する鬼たち

バスハイク改め お楽しみ会

3B病棟 中島千絵

2月10日に半日バスハイクで「コニカ・ミノルタ サイエンスドーム」に行く予定でしたが、ところが天気予報は外れることなく、当日の朝から雪が舞い始めました。行き先も積雪の多い八王子の予定だったため、残念ながらバスハイクは中止となりました。

職員を含めたバスハイクメンバーは午後、支援科の活動室に集合しました。部屋にあるスクリーンに松田聖子や八代亜紀、山本リンダなどが歌う映像を映し出し、病棟から持ってきたタンバリンやマラカス、鈴などを鳴らしながら賑やかに鑑賞しました。リクエスト曲に笑顔になる人、スクリーンの前で視線をくぎ付けにしている人、職員と一緒に楽器を鳴らして過ごす人。思いがけない雪景色の中、それぞれが楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



雪をまとうバルコニーと木々

誕生会 & お楽しみ会

3D病棟 瀬野由佳

2月2日に2月の誕生会とお楽しみ会を行いました。呼吸器使用の誕生者は、ご本人の体調と看護師さんの協力で、ポータブルの呼吸器を装着し、自分の車いすで参加することができました。ダイルームで皆にお祝いされ、穏やかな表情で参加していました。

お楽しみ会は、節分が近いので豆まきを模して、「鬼をやっつけて、恵方巻をつくらう」と題して鬼を的にしてピンポン玉を飛ばしました。そして、ピンポン玉の落ちた先には、中を6つに区切った箱があり、ピンポン玉が落ちた場所を書いてある具材（まぐろ、玉子、きゅうり、かんぴょう、ごはん、桜デンプ）を海苔で巻いて恵方巻にしました。出来上がった恵方巻を皆に紹介し、具が多い物から海苔ときゅうりの物まで様々な出来上がりを見て盛り上がりました。呼吸器使用の方や体調不良の方には、各ベッドルームを鬼が周り豆まきを行いました。全員がそれぞれの形で節分の雰囲気を感じることができました。



具だくさんの恵方巻



お楽しみ会

2D病棟 紺野あけみ



2月22日にお楽しみ会を実施しました。今回は、利用者の皆さんが待ち望んでいた招待観劇をいよいよ実施することができ、ヴァイオリン奏者の「岸 倫仔さん」に来ていただきました！初めに2月の誕生者のお祝いをピアノの生演奏で行いました。利用者の表情も満足そうに穏やかな表情を見せていました。演奏では、ジブリ音楽「となりのトトロ」「さんぽ」「天空の城ピュタ」「風の通り道」や「おひなさま」「ドラえもん」の他、リクエストでお願いした「旅立ちの日に」など、多くの曲をお楽しみしました。聞きなれた曲がヴァイオリンでの演奏となると、どこか高貴な雰囲気を漂わせ、利用者の中には、うっすら涙ぐむ方や聞きなれた曲に嬉しそうに声を上げる方の姿がみられました。とても贅沢な演奏会となり、利用者・スタッフ共に、素敵なひと時を過ごすことができました。



空の城ピュタ」「風の通り道」や「おひなさま」「ドラえもん」の他、リクエストでお願いした「旅立ちの日に」など、多くの曲をお楽しみしました。聞きなれた曲がヴァイオリンでの演奏となると、どこか高貴な雰囲気を漂わせ、利用者の中には、うっすら涙ぐむ方や聞きなれた曲に嬉しそうに声を上げる方の姿がみられました。とても贅沢な演奏会となり、利用者・スタッフ共に、素敵なひと時を過ごすことができました。

お楽しみ会

2B病棟 木村由紀子



2B病棟では、2月8日（水）にお楽しみ会を行いました。書画カメラを使い、大きなスクリーンに「ひみつのがっき」という絵本を映し出しました。ページをめくる毎に登場人物が持っている「ひみつの楽器」を紹介しながら、その楽器の音を利用者の皆さんと一緒に鳴らして楽しみました。次はどんな音の楽器がくるのか、興味をもってスクリーンの画面を見ていました。普段から太鼓をたたくのが得意な方は、リズム良く太鼓をたたき、ハーモニカの音を上手に出せる方は、タイミングよく音を出していました。

初めて触るトライアングルの音色には、身体を揺らしながら笑い、楽しさを表している方もいました。その他にも、ギター・ラップ・ピアノなどの音を職員と一緒に演奏し、それぞれが楽しい時間を過ごすことが出来ました。

最後に鈴やタンバリン・マラカス等と一緒に鳴らしながら「しあわせなら手をたたこう」を歌い、楽しくにぎやかに終了しました。



テーマ別改善運動発表会『敢闘賞』受賞

栄養科 高田直美

2月14日（火）に、3年ぶりとなりますが「令和4年度テーマ別改善運動発表会 改善提案2022～医療現場での取組～」が初のWeb配信で開催されました。府中療育センター代表として、栄養科の「私たちYouTubo（言う厨房）」チームが参加し、おかげさまで「敢闘賞」を受賞することができました。

発表内容は、「りょういくの初耳学 おうちごはんが大変身」と題して、家庭での介護食のニーズが高まる中、「家族と同じ家庭料理や惣菜を利用できたら」と、嚥下調整食の加工のコツを説明した動画を作成し、ホームページ等から情報発信したことについて、となります。

動画作成や発表スライド作成にあたり、病棟、通園をはじめ関係の皆様には多大なご協力をいただき、幹部の皆様からご指導いただきましたこと、ありがとうございました。順次新しい動画を追加して参りたいと思いますので、是非ご覧ください。

加工のコツを動画にして配信

